

戦後 日本産業史

日刊工業新聞「10大ニュース」にみる



日本国内初の第19回技能五輪国際大会（日本武道館で行われた開会式＝昭和45年）



日本初の人工衛星「おおすみ」を載せて打ち上げられたL-4Sロケット5号機（昭和45年2月21日）＝JAXA提供



第1次オイル・ショック後のモノ不足はトイレットペーパーから洗剤へと及び主婦の行列が（昭和48年～49年）



ソニーが昭和54年に発売したウォークマン1号機



糸を売って縄を買ったと揶揄された日米繊維交渉で仮調印する田中角栄通産相（昭和46年10月15日）



高度成長のまっただ中、工場はモクモクと煙を吐き出していた（昭和45年頃の川崎地区）

70年代

列島改造と2度のオイルショック

1970（昭和45年）

- ① 成功した日本万国博（世界と対話）
- ② GM、フォードも日本進出（ビッグ3、相次ぎ上陸）
- ③ こじれた日米繊維交渉
- ④ カラーテレビの二重価格問題化（電機業界ゆさぶる）
- ⑤ 公定歩合の引き下げ（引き締め14カ月ぶり緩和）
- ⑥ 技能五輪の日本開催（3年連続総合優勝）
- ⑦ 第四次防衛計画決まる
- ⑧ 人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功（4番目の衛星保有国に）
- ⑨ 深刻化する公害
- ⑩ 中共、周四条件を提示

1971（昭和46年）

- ① ドル・ショックと円の変動相場制移行
- ② 日米繊維政府間協定まとまる
- ③ 中国の国連加盟と周四条件
- ④ 特惠関税の実施
- ⑤ 粗鋼など不況カルテル相次ぐ
- ⑥ OPEC攻勢と石油戦争
- ⑦ 電算機業界、3グループ化する
- ⑧ 第四次資本自由化
- ⑨ 第一・勲銀の合併
- ⑩ 環境庁が発足

1972（昭和47年）

- ① 田中内閣誕生と列島改造（国民の広い共感呼ぶ）
- ② 日中国交正常化なる（8億の民と完全握手）



ベストセラーになった『日本列島改造論』（昭和47年6月）

- ③ 新円対策・貿管令の実施（貿易政策転機迎える）
- ④ 拡大ECと多極化時代（大欧州へ大きく前進）
- ⑤ 株価史上空前の高値（5000円の大台に迫る）
- ⑥ 金融緩和と低金利時代の出現（郵貯も11年ぶり下げ）
- ⑦ 景気回復と企業業績の好転（予想上回る好調ぶり）
- ⑧ 卸売物価が急騰（福祉政策の障害にも）
- ⑨ 公害裁判で企業側敗訴（企業姿勢に一大教訓）
- ⑩ 沖縄の本土復帰（本土並み、なお遠い道）

1973（昭和48年）

- ① 中東戦争と石油危機（最も影響受けた日本）
- ② 物価が急騰（秋になり危機的様相）
- ③ 田中首相の米・欧・ソ訪問（北方領土は交渉継続）
- ④ ガット東京宣言を採択（新国際ラウンド開始）
- ⑤ 石油関連二法案なる（乗り切れるか非常時）
- ⑥ 円の変動相場制移行（輸出関連産業に打撃）
- ⑦ 電算機・ICの自由化決まる（まだ再編成あり得る）
- ⑧ 本四架橋・海洋博の延期（地元の表情は複雑）
- ⑨ コンビナート事故相次ぐ（急かれる体質の改善）
- ⑩ 江崎博士にノーベル賞（わが国4人目の栄誉）

1974（昭和49年）

- ① 不況が深刻化（スタグフレーションの色彩。倒産件数が急増）
- ② 激化した資源戦争（勢いに乗る産油国。消費国の結束にもめど）
- ③ 物価狂乱（空前の高騰）
- ④ 見直される独禁法（公取試案めぐり論議。新内閣の扱い注目）
- ⑤ 原子力船「むつ」暗礁へ（事故が提起。原子力問題全面見直し）
- ⑥ もたつく自動車排ガス規制（▽後退▽に高まる世論）
- ⑦ 三木新内閣誕生

- （クリーン内閣誕生）
- ⑧ 経団連、土光体制スタート（行動する経団連へ）
- ⑨ 国土利用計画法が成立（土地利用の合理化推進）
- ⑩ 日中貿易・航空・海運協定の締結（日中友好親善が実結ぶ）

1975（昭和50年）

- ① 興人など大型倒産相次ぐ（過大投資が命取り。倒産件数は最高を記録）
- ② 四次にわたる不況対策（本格的な回復に至らず。四次対策も不発）
- ③ 電算機の完全自由化（急テンポの再々編成。本番はこれから）
- ④ 石油製品など新価格体系に動く（第二の値上げラッシュ）
- ⑤ ランブイエで6大国首脳会議（サミット）開催（新経済秩序求め会議。東西問題が課題）
- ⑥ 自動車排ガス規制実施（低公害車時代始まる）
- ⑦ 独禁法改正が流産（再提出の時期微妙）
- ⑧ 本四架橋着工（実現に第一歩）
- ⑨ 実用衛星とシートピアの成功（空、海の開発本格化）
- ⑩ 中小企業近代化促進法成る

1976（昭和51年）

- ① 景気中だるみ・倒産急増（混迷政局、不況に拍車。11月の倒産は史上最高）
- ② ECの対日貿易批判高まる（わが国の黒字は42億ドル）
- ③ ロッキード事件と産業界への波紋（痛かった三法案の遅れ）
- ④ OPECが原油値上げ（波乱の総会。異例の二本立て値上げ）
- ⑤ 不況の中での企業再編成（相次ぐ業務提携。合併前提が特徴）
- ⑥ 中小企業分野調整法案固まる（審議過程で修正も）
- ⑦ 研究開発集団、相次ぎ誕生（2組合スタート。未踏技術の確立目指し）
- ⑧ 専管2007時代の到来

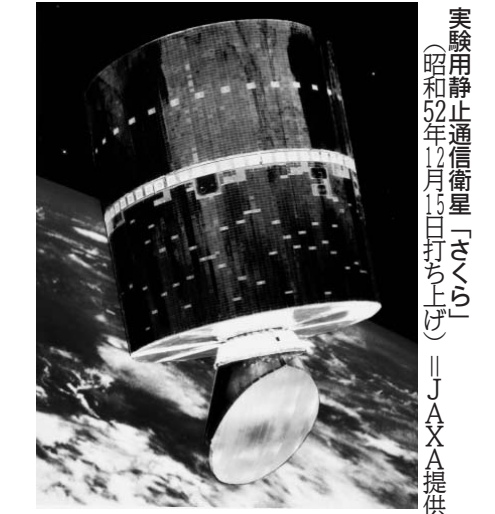


「夢の懸け橋」本四架橋（昭和50年着工）

- （早急に望まれる対応策）
- ⑨ 公共料金軒並み値上げ
- ⑩ 輸出が史上最高

1977（昭和52年）

- ① 円高、日本経済を直撃（1ドル＝240円割る）
- ② 高まる日本製品締め出し（欧米で輸入規制広がる）
- ③ 2兆円の不況対策不発（内需拡大などで手遅れ）
- ④ 倒産続出と雇用不安（造船、海運で大型倒産、失業者100万人超える）
- ⑤ 相次ぐトップの若返り（松下電器が口火切る）
- ⑥ 改正独禁法が施行（企業分割の命令を規定）
- ⑦ 三全総まとまる（高速道路の建設に重点。240兆円の巨大投資見込む）
- ⑧ 核燃料再処理で日米合意（運転を2年に限定）
- ⑨ 安宅を合併▽新、伊藤忠発足（第3位の商社誕生）
- ⑩ 「きく」「ひまわり」「さくら」打ち上げ（宇宙開発が軌道に）



1978（昭和53年）

- ① 円高、産業界を直撃（一時1ドル＝176円。景気回復にブレーキ）
- ② 日中平和友好条約が発効（拡大たどる経済交流）
- ③ OPEC初の段階値上げ（本格的な高価格時代へ）
- ④ 日米通商交渉が前進（貿易不均衡を改善）
- ⑤ 超低金利、高株価時代に（公定歩合3.5%。貸し出し競争激化）



佐世保救済問題で会談前に握手する福永運輸相（左）と坪内来島どつく社長



アジア初の国際博覧会として開催した大阪万博（昭和45年）

- ⑥ 国産発電原子炉「ふげん」が臨界（来春には営業運転）
- ⑦ 佐世保重工の再建スタート（首相が異例の指示）
- ⑧ 基幹産業に大合理化旋風（軒並み人員削減）
- ⑨ 大平内閣が発足。7%成長断念（問われる経済政策）
- ⑩ 日商、東証が100周年（新世紀へ決意新た）

1979（昭和54年）

- ① OPECの原油大幅値上げと第2次石油危機（供給削減との二重苦一省エネが至上課題に）
- ② 民間設備投資5年ぶりに増勢（2ケタの伸び回復）
- ③ 東京サミット開く（アジアで初の開催）
- ④ 世界的な高金利時代が到来（公定歩合3回上げ）
- ⑤ 電電公社の門戸開放（81年にスタート）
- ⑥ スリーマイル島原発事故と原子力の安全性（品質保証に抜本策）
- ⑦ 高齢化社会到来で定年延長への取り組み急（鉄鋼と私鉄が延長）
- ⑧ 対中経済交流が活発化（6大事業に円借款）
- ⑨ 濃縮ウラン初の国産化なる（安定供給へ第一歩）
- ⑩ 東洋工業とフォード、資本提携（アジア制圧狙う）



昭和53年5月に開港した成田空港（新東京国際空港）



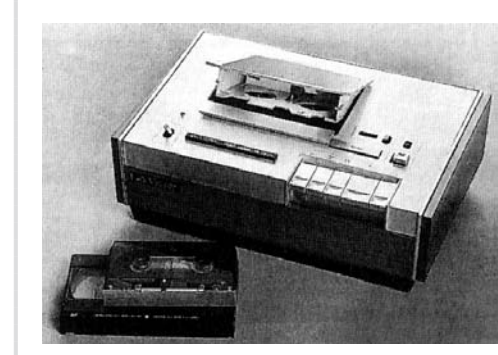
日本一のマンモス銀行が誕生（昭和46年10月1日＝第一勲銀本店）



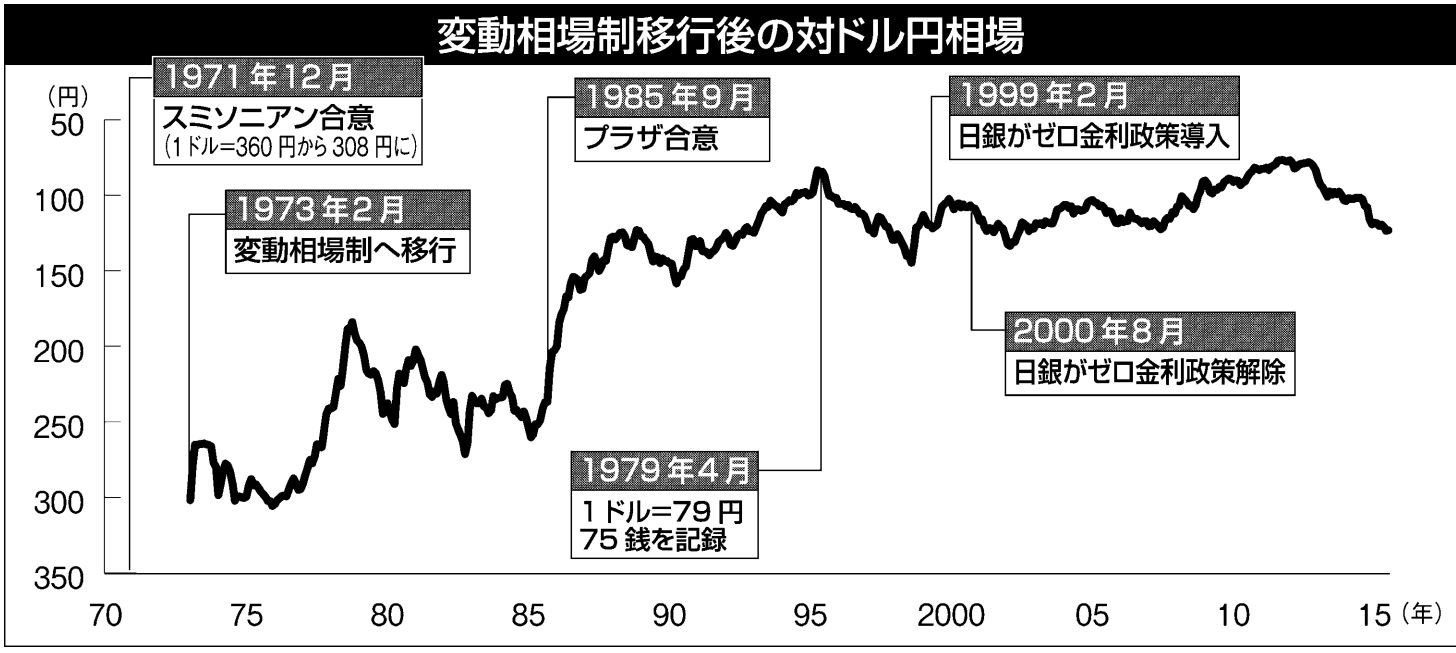
カラーTVフル生産中の松下電器茨木工場（昭和40年代初め）



昭和40年代のソフト開発の現場（CAC）。現在のような端末はなく、まさに紙と鉛筆だけの作業だった



「VHS」1次試作機（昭和47年＝日本ビクター）



70年代

1970年代は70年（昭45）「成功した日本万博」で幕を開けた。万博の「人類の進歩と調和」というキャッチフレーズは、その後の産業界を的確に予言するものだった。

日本製品の品質は世界的に高く評価され、先端技術でも70年「人工衛星『おおすみ』打ち上げ成功」など、世界水準に達した。対する欧米は日本を警戒。71年「ドル・ショックと円の変動相場制移行」によって、日本から輸出の優位性を奪った。

進歩と調和…成長も環境も

内需振興をうたって登場したのが72年「田中内閣誕生と列島改造」。本社刊行の『日本列島改造論』は空前のブームとなった。

しかし、何といてもこの時代の日本経済の浮沈を決定づけたのは73年「中東戦争と石油危機」、79年「OPECの原油大幅値上げと第2次石油危機」だ。74年「物価狂乱」に国民が苦しんだ。産業構造は激変し、75年「興人など大型倒産相次ぐ」事態となった。

世界的な経済の混乱を收拾するため、フランスの提唱により75年「ランブイエで6大国首脳会議」が開かれた。日本も一員に加わり、79年「東京サミット開く」成果を得た。

今日に続く環境問題もこの時代に始まる。70年「深刻化する公害」と71年「環境庁が発足」の前に、成長最優先だった産業界は環境との調和を考えざるを得なくなった。75年「自動車排ガス規制実施」も、こうした公害問題への対策だった。